

保健だより 奈良中学校 保健室 : R6. 2. 8



< 学校教育目標:「世界を小とせよ」奈良中生

知性をみがく生徒 愛情深き生徒 体を鍛える生徒 >

1学年・性教育講演会「大人になっていく君たちへ～いのちの誕生する現場から～」

令和6年2月2日(金)に熊谷市男女共同参画室のご協力の下、1学年を対象とした性教育講演会を行いました。講師は熊谷市大麻生にある中島助産院院長の中島桂子先生です。出産の現場で赤ちゃんを取り上げる立場から、「二次性徴」や「生命の誕生」などのお話をいただきました。



講演会でうかがったお話のポイントをまとめてみました。

人は弱い動物です。みんな自分が大事。人はひとりでは生きていけないので、大好きな人や仲間や友達との関係、触れ合いやコミュニケーションを本能的に大事にします。赤ちゃんは生まれたその瞬間から、人を動かす力をもっています。赤ちゃんの笑顔や存在自体が、周りの人と人とを結び付けます。逆に、笑顔や触れ合いを受けられない環境の赤ちゃんは、生きることさえ、ままならなくなります。今こうしてここにいるみなさんは、必ず誰かのお世話を受けて、今、生きています。

なぜ、男子と女子の「性」があるのか?「それは命をつないでいくため」です。これは遺伝子にインプットされていることです。ですから、人が人との触れ合いを求めるのも、動物としての本能です。二次性徴を迎えた皆さんには、命を生み出す力が備わっています。ですから、そこには、生まれてくる命に対して責任が負えるのかという問題が生じてきます。中学生として望ましい男女の関係を考えなければいけません。

あなたに正しい知識を与えてくれるのは、インターネットからの情報ではありません。学校や保健体育の授業、そしてあなたの周りにいる信頼できる大人です。思春期外来という、専門家に相談できる場所もあります。高校生になっても、もし、射精や月経を迎えなかったら、一度相談しましょう。

今日のまとめ

- 人は、**生きる**ために生まれてくる
- 自分で考えて決めることができる。
- 我慢することも必要な時もあるけど助けを求めている



～ 生徒の感想の一部を紹介します ～

- ・私たちはありのままがいい、ということが印象に残りました。多様性を大切にしていきたいです。
- ・ちょうど思春期で、親に反抗してしまうこともあるけれど、今の自分と向き合っていきたいです。
- ・命がけて産んでくれたお母さんに感謝します。
- ・お産はお母さんも赤ちゃんも命がけて、生まれた子どもは家族全員に幸せと勇気を与えると分かりました。
- ・今の時代は、男女関係なく、それぞれのよさを認め合って生きていくことが大切だと分かりました。
- ・私も大人になったら赤ちゃんを産むかもしれません。その時は、今日教えていただいたように、大切に育てていきたいです。
- ・将来好きな人ができて、その人が赤ちゃんを産むことになったら、しっかり寄り添ってあげたいと思いました。